

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(60歳代女性)ありました。症状はありません。感染地域は国内、感染経路は経口です。本年の累積報告数は31例となりました。  
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- A型肝炎の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常です。感染地域は国内で、感染経路は経口です。本年の累積報告数は3例となりました。
- デング熱の報告が1例(20歳代女性)(第30週追加報告分)あり、症状は2日以上続く発熱、頭痛、発疹、白血球減少です。感染地域は国外(カンボジア)で、感染経路は蚊です。本年の累積報告数は4例となりました。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)ありました。感染地域は国外(中国)で、感染経路は塵埃です。本年の累積報告数は17例となりました。
- 百日咳の報告が2例(10歳未満男性及び10歳代女性)ありました。いずれも感染地域は国内、感染経路は家族内です。本年の累積報告数は76例となりました。
- 手足口病の定点当たり報告数は、京都市が3.09で3週連続の減少、全国は10.54で前週から減少となりました。しかしながら、京都市および全国で警報が継続しており、流行状態にあると言えます。予防や感染拡大防止を心がけてください。
- 伝染性紅斑の定点あたり報告数は1.12(48例)で、前週1.65(71例)から減少しましたが、依然として過去5年平均値を上回っています。京都市全体としては警報レベルとは言えませんが、行政区別で見ると、上京、左京、右京及び伏見各区で警報レベルが継続しています。全国でも過去5年平均値を上回る状態が続いており、今後の発生動向に注意が必要です。

## ◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.91(39例)となり、前週の0.37(16例)から大幅に増加しました。全国でも前週1.01から今週1.40と増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 180例(肺結核 76例, その他結核46例, 潜在性結核感染者 58例)うち喀痰塗抹陽性 37例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 31例】
- 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 四類:デング熱 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類:百日咳 2例【1月以降の累積報告数 76例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

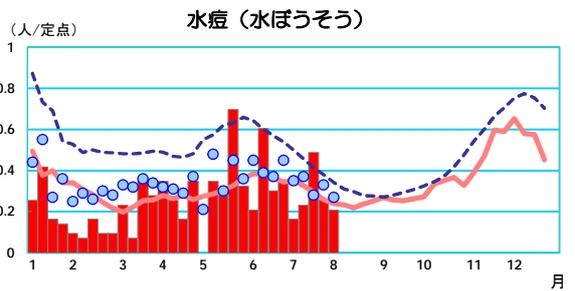
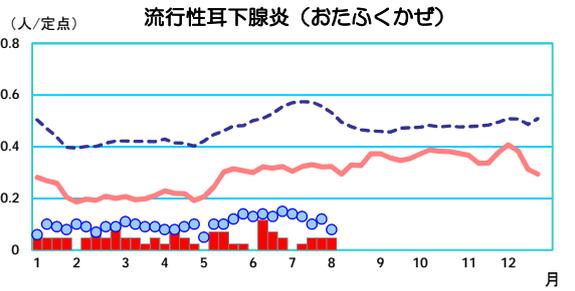
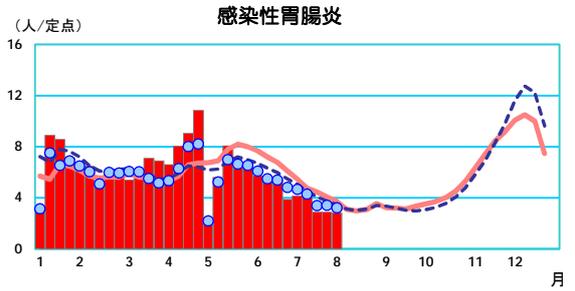
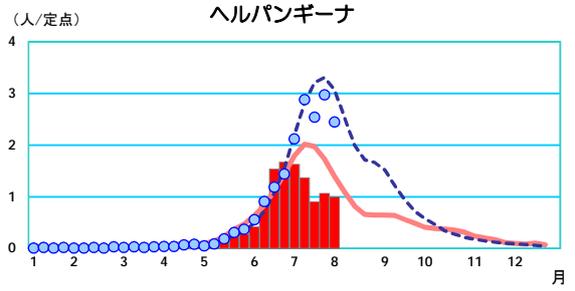
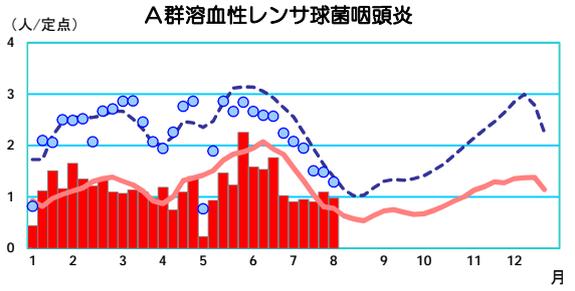
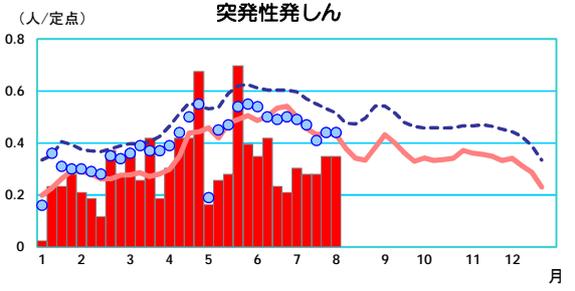
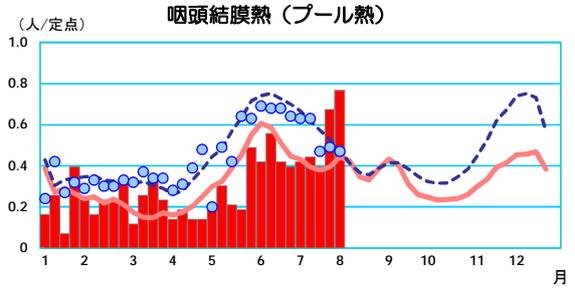
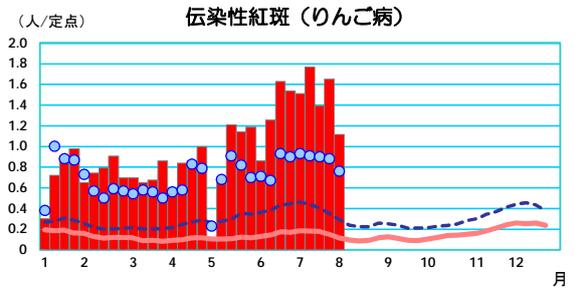
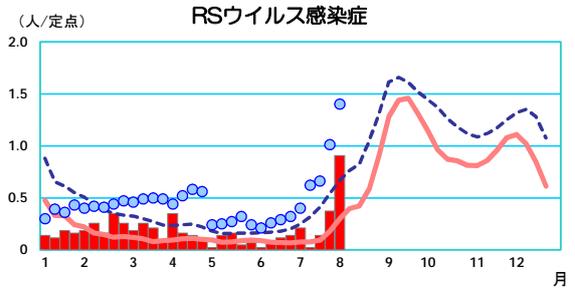
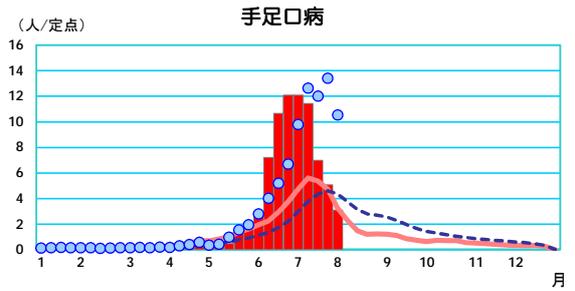
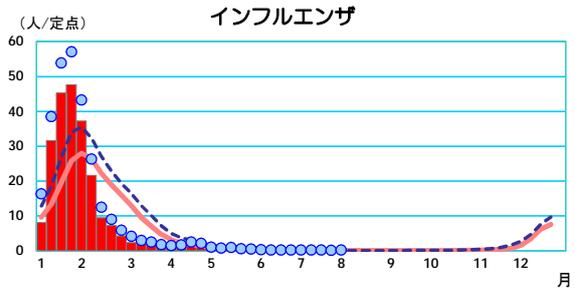
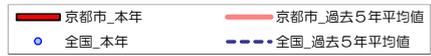
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.17	12
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	3.09	133
	② 感染性胃腸炎	2.84	122
	③ 伝染性紅斑	1.12	48
	④ ヘルパンギーナ	1.00	43
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.98	42
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2019年8月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



# 第31週(7月29日～8月4日)トピックス: <RSウイルス感染症>

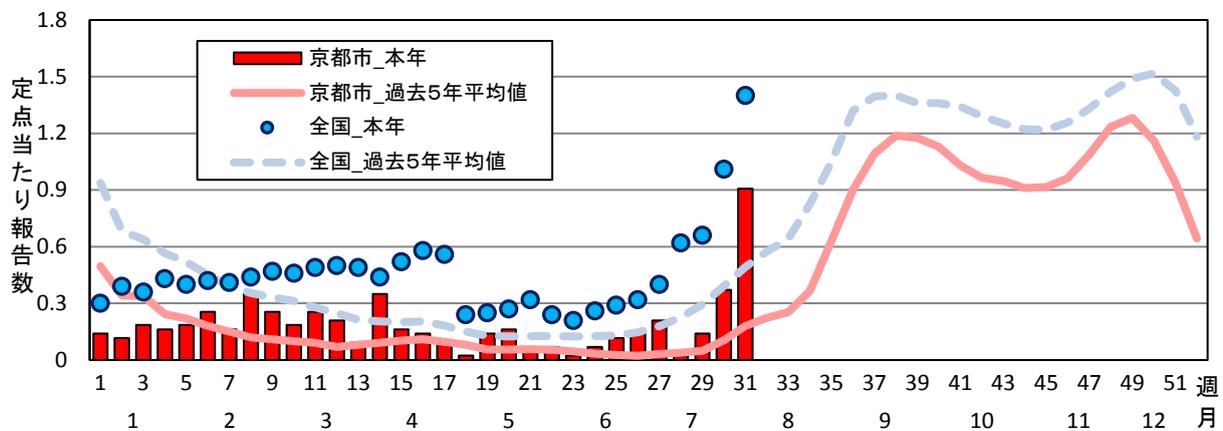
京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.91(39例)となり、前週の0.37(16例)から大幅に増加しました。全国でも前週1.01から今週1.40と増加しています(図1)。都道府県別の定点当たり報告数を見ると、地域間の差はありますが、北海道、秋田県、香川県及び沖縄県を除いた43都府県で前週から増加しました(図2)。

これまでRSウイルス感染症は9月頃から流行し、冬季にピークを迎え、初春まで続くとされてきました。しかしながら、ここ2～3年は夏ごろから流行が始まり、秋にピークを迎えるようになってきています。実際に過去5年間の年間定点当たり報告数の最も多かった週(ピーク週)をみると、平成26年、27年は京都市及び全国ともに冬季の第50週(12月初旬)にピーク週を迎えています。平成28年以降は36～40週(9月中旬から10月初旬)と秋季にピーク週が移動しています(表1)。今年も最近の傾向と同様に夏から報告数が増加しているため、今後の発生動向に注意が必要です。

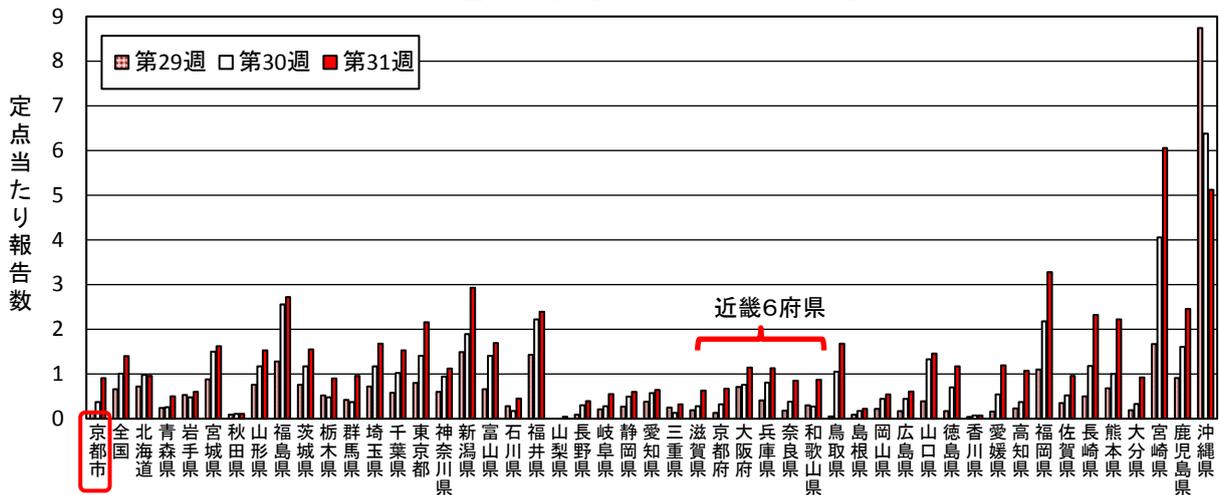
本感染症は、RSウイルスを病原体とする呼吸器感染症で、主な患者は2歳以下の乳幼児です。通常4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、とりわけ乳児で初めて感染した場合には重症化しやすく、ひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、場合によっては細気管支炎、肺炎へと進んでいきます。

感染経路は飛沫感染と接触感染です。咳などの症状のある大人はマスクを着用し、飛沫による感染を防ぎましょう。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、ドアノブなどのアルコール消毒剤や塩素系消毒剤などによるこまめな消毒、流水と石けんを用いた手洗いやアルコール消毒での手指の消毒が接触による感染予防に効果的です。

(図1)令和元年京都市および全国の定点当たり報告数



(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



(表1)京都市及び全国の過去のピーク週と定点当たり報告数

	京都市		全国	
	ピーク週	定点当たり報告数	ピーク週	定点当たり報告数
平成26年	50週	1.66	50週	2.59
平成27年	50週	2.90	50週	2.36
平成28年	40週	1.60	40週	2.32
平成29年	36週	2.81	37週	3.34
平成30年	37週	2.77	37週	2.46

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第31週

疾病,行政区別報告数

2019年7月29日～2019年8月4日

データ入手日:2019年8月7日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	2	3	3	1	-	-	1	-	-	1	-	-	2						
上京	2	4	2	1	6	1	3	6	1	-	-	-	1						
左京	4	3	3	7	7	-	24	4	3	5	-	-	-						
中京	-	2	-	-	6	-	9	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3	-	-	17	-	1	1	1	-	-								
山科	1	-	6	2	-	-	14	5	3	2	-	-	3						
下京	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-								
南	-	-	-	-	-	1	6	1	-	4	-								
右京	3	7	12	26	25	4	18	11	1	4	2	-	1						
伏見	-	17	4	5	52	3	44	16	5	21	-	-	-						
西京	-	-	3	-	9	-	10	1	1	-	-	-	-						
京都市計	12	39	33	42	122	9	133	48	15	43	2	-	7	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.29	0.75	0.75	0.25	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	2.00						
上京	0.40	1.33	0.67	0.33	2.00	0.33	1.00	2.00	0.33	-	-	-	1.00						
左京	0.57	0.75	0.75	1.75	1.75	-	6.00	1.00	0.75	1.25	-	-	-						
中京	-	0.67	-	-	2.00	-	3.00	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.50	-	-	8.50	-	0.50	0.50	0.50	-	-								
山科	0.14	-	1.20	0.40	-	-	2.80	1.00	0.60	0.40	-	-	3.00						
下京	-	-	-	-	-	-	1.50	-	-	1.50	-								
南	-	-	-	-	-	0.33	2.00	0.33	-	1.33	-								
右京	0.38	1.40	2.40	5.20	5.00	0.80	3.60	2.20	0.20	0.80	0.40	-	1.00						
伏見	-	2.43	0.57	0.71	7.43	0.43	6.29	2.29	0.71	3.00	-	-	-						
西京	-	-	0.60	-	1.80	-	2.00	0.20	0.20	-	-	-	-						
京都市計	0.17	0.91	0.77	0.98	2.84	0.21	3.09	1.12	0.35	1.00	0.05	-	0.70	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第31週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年7月29日～2019年8月4日

データ入手日:2019年8月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	12	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	3	-	1	2	1	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	39	2	6	23	5	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		33	-	3	10	6	3	4	4	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		42	-	1	1	1	3	3	8	7	1	5	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		122	2	7	20	17	12	12	7	8	7	3	6	10	-	11	-	-	-	-	-	-	-
水痘		9	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		133	2	17	38	30	21	8	6	5	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		48	-	2	2	3	6	9	7	9	5	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	6	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		43	-	4	11	5	9	3	4	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		7	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.17	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.06	-	-	0.04	-	0.01	0.03	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.91	0.05	0.14	0.53	0.12	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.77	-	0.07	0.23	0.14	0.07	0.09	0.09	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.98	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.07	0.19	0.16	0.02	0.12	0.09	0.09	-	0.09	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.84	0.05	0.16	0.47	0.40	0.28	0.28	0.16	0.19	0.16	0.07	0.14	0.23	-	0.26	-	-	-	-	-	-
水痘		0.21	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3.09	0.05	0.40	0.88	0.70	0.49	0.19	0.14	0.12	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1.12	-	0.05	0.05	0.07	0.14	0.21	0.16	0.21	0.12	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.35	-	0.14	0.16	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.00	-	0.09	0.26	0.12	0.21	0.07	0.09	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.70	0.10	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	0.20
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第31週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年8月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	8	6	3	6	8	12
RSウイルス感染症	6	9	1	6	16	39
咽頭結膜熱	17	18	19	17	29	33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	39	41	39	47	42
感染性胃腸炎	167	179	182	124	124	122
水痘	15	7	10	21	11	9
手足口病	520	520	492	301	218	133
伝染性紅斑	66	65	76	60	71	48
突発性発しん	9	13	12	12	15	15
ヘルパンギーナ	72	70	59	39	46	43
流行性耳下腺炎	2	-	1	2	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	3	6	-	6	7
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	927	929	902	627	593	505

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.12	0.09	0.04	0.09	0.12	0.17
RSウイルス感染症	0.14	0.21	0.02	0.14	0.37	0.91
咽頭結膜熱	0.40	0.42	0.44	0.40	0.67	0.77
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	0.91	0.95	0.91	1.09	0.98
感染性胃腸炎	3.88	4.16	4.23	2.88	2.88	2.84
水痘	0.35	0.16	0.23	0.49	0.26	0.21
手足口病	12.09	12.09	11.44	7.00	5.07	3.09
伝染性紅斑	1.53	1.51	1.77	1.40	1.65	1.12
突発性発しん	0.21	0.30	0.28	0.28	0.35	0.35
ヘルパンギーナ	1.67	1.63	1.37	0.91	1.07	1.00
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.02	0.05	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.30	0.60	-	0.60	0.70
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	21.56	21.78	21.41	14.53	14.18	12.18

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。